

カメラレポート

CAMERA REPORT

このコーナーでは、地域や学校で行われるイベント行事などを紹介します。皆さんの身近で行われている楽しい催しなどありましたら、企画課広報統計係（52 2115）までお知らせください。



悔しさをバネに飛躍を誓う（9月6日）

北海道高等学校軟式野球大会旭川支部予選会が、町営湖畔球場を会場として行われました。

大会には、南富良野高校と旭川大学高校が出場し、支部代表を目指して熱い戦いが繰り広げられました。

試合は、南富高米木直人投手、旭大高奥山元規投手の投げ合いで始まり、4回に3点を先制された南富高は、6回の裏にスクイズと相手バッテリーのミスで2点を返し1点差に詰め寄りましたが、8回に追加点を奪われ2対4で惜しくも敗退しました。

試合後選手の皆さんは、涙をぬぐいながら悔しさをあらわしていましたが、夏の大会後3年生が抜けて部員不足となり、卓球部などから部員を借りてチームを編成した事情もある中で大健闘の試合でした。来年の飛躍が期待されます。

福祉スポーツ大会（8月30日）

町および町社会福祉協議会の主催による「第32回福祉スポーツ大会」が行われました。当日は雨のため町民体育館を会場として、町内のお年寄りや母子、施設利用者の皆さんが一同に会し、ゲートボールリレーや輪投げリレーなど様々な競技を通して交流を深め、楽しい1日を過ごしました。

各競技は、施設利用者と地区別に赤、青、白の3チームに分かれて争われ、昨年に引き続き青チームが優勝しました。競技の合間には、幾寅小学校の児童が「よっちょれ」を披露し、会場内のみなさんから大きな拍手が沸き起こり、大会を盛り上げていました。

昼食時には、町赤十字奉仕団の会員の皆さんが、災害時に使用される「ハイゼックス」と呼ばれる炊飯袋で米を炊いて、カレーライスにして参加した皆さんに振る舞われました。



山名康郎さん「日本歌人クラブ賞」受賞

本町金山出身で歌人であり、札幌南ふらの会会長を務める山名康郎さんが、このほど「日本歌人クラブ賞」を受賞されました。日本歌人クラブは、結社を超えた日本最大の歌人団体で、同賞はその最高賞になります。受賞作「歌集・冬の骨」は北海道の自然や歴史を叙事的に詠まれた作品です。

去る8月6日、その受賞を祝う会が札幌市で開催され、全道各地から百余名の関係者が出席し、盛大に行われました。富良野地方からは本町金山の阿部巖さん（北海道歌人协会会员・南富良野短歌会代表）が出席されました。

なお、山名さんは現在北海道歌人会代表、花林短歌会代表、歌詩「潮音」の選者などの重責を担って活躍しておられます。

この度の受賞、誠におめでとうございます。



△左から2人目が山名康郎さん

南富高生がカナダへ留学

南富良野高校で国際交流派遣事業が行われました。この事業は、異文化体験をとおして日本文化を知り、国際感覚を身につけることを目的として、平成11年度から行われており、途中、アメリカで同時多発テロが発生したため休止していましたが、平成16年度から訪問先をカナダにして再開され、今年で5回目の開催となります。

今回留学したのは、2年生の柿原裕介くん、小川愛未さん、山下郁未さんの3名で、7月27日から8月17日までの期間、カナダのプリティッシュコロンビア州バンクーバー市に滞在し、英語研修や課外活動、ホストファミリーとの交流を行ってきました。

帰国後の8月25日には池部町長を訪れ、3週間のカナダでの生活について報告しました。

9月1日には、同校で帰国報告会が行われ、カナダの街並みや交流の様子について全校生徒に報告しました。報告の中で柿原くんは「英語は難しかったが、自分から積極的にコミュニケーションをとることができた。この経験を生かして将来国際的な人間になれるように頑張りたい」と話していました。同校では今後、3名の貴重な経験をまとめた研修報告書が作成されることになっています。



ナイジェリアの研修生が来町（8月25日）

エイズ対策などに関する研修のため来日している、ナイジェリアからの研修生が本町を訪れ、池部町長を表敬訪問した後、町内の福祉施設を視察しました。特別養護老人ホーム一味園では、園長からの説明を受け熱心に施設内を見学し、入所者に声をかけたり握手をかわすなど、なごやかに視察が行われました。研修生の皆さんは、研修生入所者の皆さんも拍手で応えていました。



力いっぱいボールをキック（9月3日）

町子ども会育成連絡協議会が主催する「第7回子ども会スポーツ交流会」が山村広場で行われ、町内の小中学生約60名が小学生の部と混成の部に分かれて、キックベースボールで交流を深めました。

参加した子ども達は、さわやかな秋晴れの下で、力いっぱいボールを蹴り上げ、元気にグラウンドを走り回っていました。

競技の結果、小学生の部では「風の子高学年」チーム（幾寅）、混成の部では「南風の子」チーム（幾寅）がそれぞれ優勝しました。



完全給食が開始（8月22日）

町立学校給食センターでは、2学期から完全給食の提供を開始しました。これまでは、毎週火曜日と木曜日に児童生徒が家庭からごはんを持参していましたが、給食センターから提供することにより、温かいご飯が食べられるとともに、白米だけでなくチャーハンや混ぜご飯などの様々なメニューも提供できることとなります。

ごはんの提供が始まった初日のメニューはカレーライス。幾寅小学校1年生の教室では、早速あつあつのご飯にカレーをかけて、おいしそうに食べていました。



隣まちの大学生と交流（8月24日）

千里大学と占冠村高齢者大学による合同の学習交流会が総合福祉センターで行われ、合わせて約90名の学生が参加して、芸能発表や合唱などで交流し、親睦を深めました。

